

あいさい通信

発行：あいさいボランティアガイドの会 編集：若山
愛西市森川町井桁西27 愛西市観光協会内
電話：0567-55-9993

干潮の風景



高畑水没遺跡

釣りを趣味にしている人、天文学を趣味にしている人には常識かもしれませんが、3頁に示すように、海は約6時間毎に干満を繰り返しています。気象庁HPに掲載されている潮位表(予想値)を見ると、干満の潮位差は名古屋港で250cm以上あります。そして、一年を通すと大潮の日でも潮位に差があります。名古屋港では、今年(2016年)は、12月15日に最も潮が引くようです。

海拔0m地帯にある愛西市の木曾川でも、名古屋港同様に250cm以上の潮汐があり、愛西市付近での干満は、名古屋港より約一時間遅れで起きると言われています。

この結果、木曾川では時間帯によって、下流から潮が遡り、川が逆流していく様子が見られます。また、流れ下る川と上る潮のバランスが取れて水の流れが静止する時間帯があり、上空の雲、背景の養老山脈や河川敷の木々などの美しい風景を水面に映しこむこともあります。

もちろん、大雨などの影響を受けて、川が増水して気象庁の予想値のようにならないことも自然の面白さです。4月は7日が大潮で、9日に最も水位が下がるはずでしたが、7日に降った雨の影響で大幅に増水し、7～9日の愛西市葛木町にある木曾川観測所(国土交通省・川の防災情報HP)のデータは、気象庁の予想値よりも高い水位で推移していました。

さて、干潮時には河川敷に雄大な砂浜が広がり、干潮時にしか見られない風景があります。この季節の風物詩、木曾川のシジミ採りです。

一方、旧塩田港周辺の不思議な風景は必見です。木曾川に水没している江戸時代の木曾(長良)川左岸堤防跡など(高畑水没遺跡)が、干潮の時だけ水面に現れます。この地形が現在の愛知岐阜県境となっており、ここから下流は、対岸の背割堤も愛知県の愛西市となります。

< 3頁に続く >

5 月 は 信 長 生 誕 祭

戦国時代の覇者・織田信長は、1534（天文3）年5月28日生まれです。信長が生まれた勝幡城（現・愛西市+稲沢市）は、信長の祖父・信定が3郡（中島・海西・海東）の郡境に築城しました。祖父は、室町時代に尾張を治めていた斯波氏の守護代であった清須織田家の家臣（分家）でしたが、父・信秀の時代には港町津島の経済力を背景に勢力を拡大し本家を凌ぐようになり、信長の時代に尾張を統一しました。

城域は郡境に位置し、大半は稲沢市域にあり、三宅川が外堀となっていました。残念ながら江戸時代の河川改修事業によって当時の面影はまったくありません。

2014年、名鉄の勝幡駅前に信長親子像と勝幡城の模型が建てられ、毎年5月には、NPO法人「信長生誕を育む会」が催事を開いています。今年の日程は下記です。

この機会に、織田信長生誕地を巡ってみてはいかがでしょうか？

開催日時：5月15日（日） 10:30～16:30

開催場所：第1部（午前）勝幡駅前広場

第2部（午後）勝幡小学校体育館

開催内容：第1部（午前）オープニング、会場イベント

第2部（午後）開会式、伊六万歳、

佐織中学校吹奏楽演奏、服部徹氏講演会など

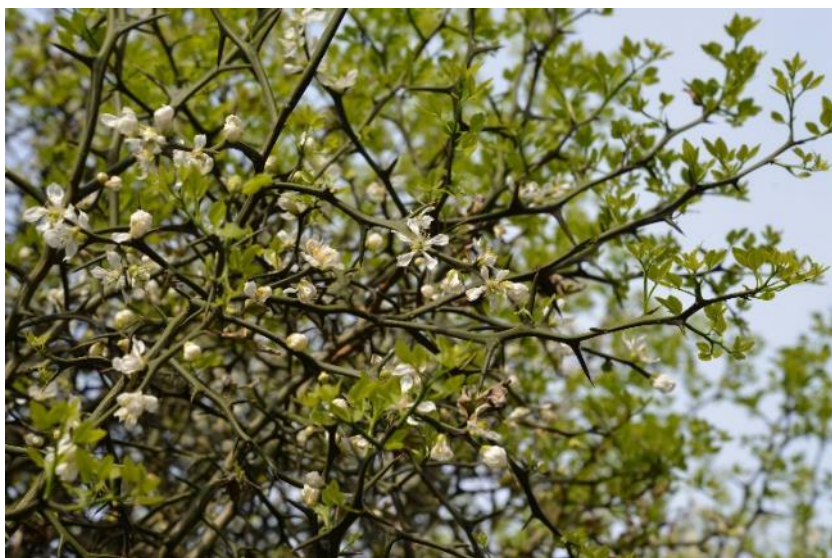
主 催：NPO法人「信長生誕を育む会」

満 開 の 桜 ・ 枳 殻

今年は、暖冬の影響などで、また、3月下旬を通して温かい日和の日が続いたため、全国的に梅と桜、桜とツツジが同時に咲くなど、かなり異常な春の風景が見られました。

その中で、4月2日頃には全国的に桜が満開となりました。

2日は愛西市でも桜まつりが開催され、天候にも恵まれ、立田会場や八開会場には、たくさんの人が訪れて、満開の花見を楽しんでいました。



一方、森川町の専随寺の赤芽白山桜は、ソメイヨシノとは品種が異なるため、一足先に開花し、4月1日には散り始めとなり静寂な境内にハラリハラリと白い花びらが舞っていました。

また、前に紹介した佐屋宿にある佐屋代官所跡前の枳殻（カラタチ）も4月9日頃に満開となり、樹齢二百年以上の大木が真っ白になって新緑の緑を際立たせていました（写真）。

干潮の風景

<表紙より>ただし、水の流れが複雑な水域ですので、楽しく遊んでいても気付くと潮が満ちてくることがありますので、シジミ採りなどでは、安全に十分注意して下さい。

下表のように、5月は7日が新月の大潮で、9日に最大干潮となります。大雨が降らなければ、これらの日の干潮時に高畑水没遺跡を見ることが出来ます。

また、5月は野鳥の季節でもあります。町中でも夏鳥として南方から渡ってきたツバメなどが子育てを始めます。木曾川の河川敷では、4月にはキジやヒバリが鳴いていましたが、5月になれば、ホトトギス、オオヨシキリ、カッコウなども加わり、賑やかに飛び回って縄張り宣言をしているでしょう。もちろん、干潮となった干潟には、チドリや猛禽類などの姿も観察できるはずです。

<気象庁HPより、名古屋潮位グラフ>

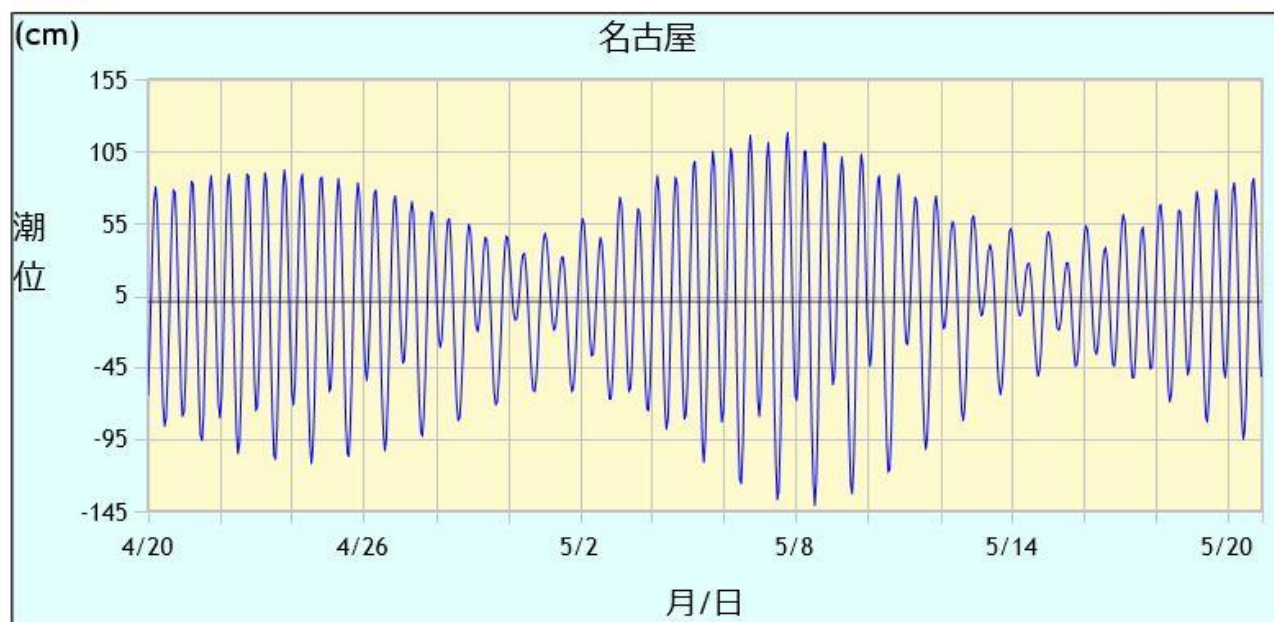
4月22日・満月、5月7日・新月で大潮となり、5月9日12時頃に最大干潮となります。

毎時潮位グラフ 名古屋

2016年4月20日～2016年5月20日の潮位予測

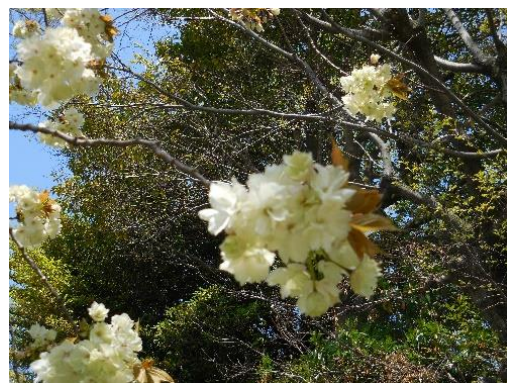
前期間

次期間



腹籠りのご本尊 御開帳

4月15日 (金)、境内に満開のウコン桜 (花が緑黄色) が咲く草平町の横川山養性寺で「腹籠りの本尊法要」がありました。10時より地元の永代経を兼ねた法要が開始され、12時に、本尊が披露されました。この仏像は、地元で深く信仰され、また、子授け、安産祈願にご利益があるため、子授け、安産を祈願する人、昨年祈願して乳幼児を連れてお礼参りに来られた人が、思い思いに焼香されていました。なお、特別な祈願には事前申し込みが必要です。



～ 観光協会が関連する 今後の予定 ～

- 4月23日（土）～24日（日）尾張津島藤まつりにて出店（於：津島市天王川公園）
4月29日（祝）名鉄ハイキング（コース：佐屋駅、道の駅立田ふれあいの里 他）
5月 8日（日）木曾三川交流レガッタ（於：木曾三川公園）
5月15日（日）信長生誕祭（於：勝幡小学校）
5月26日（木）愛西市観光協会、VG会 各総会（於：愛西市文化会館）
7月 9日（土）・10日（日）蓮見の会（於：道の駅立田ふれあいの里）
7月23日（土）・24日（日）尾張津島天王祭（於：津島神社）
7月31日（日）他、漁業体験（夏休み期間中に4回予定）（於：三和町付近の木曾川河川敷）

V G 5月定例会の予定

集合時間：5月15日（日）9時～ 集合場所：佐織公民館
内 容：夏の行事について、信長生誕祭

あいさいボランティアガイドの会 4月定例会 議事録

I. 会議（4月9日（土）9時30分～ 於：八開農業管理センター 25人出席）

1) ①催事、ガイド担当について

5月に予定されている催事、ガイド依頼他について対応を再確認し、また、夏開催予定となっている蓮見の会、漁業体験について、協力依頼予定の内容を説明しました。5月定例会で分担を決める予定です。

②研修バス旅行について

6月に長篠古戦場周辺を視察地候補として検討していき、5月定例会で日程を決めます。

2) 事務連絡

①会費を集金し、活動保険などについて説明しました。

②5月定例会、総会について日程確認しました。

3) その他

①4月2日に開催された桜まつりの結果報告をしました。

あいさいさんグッズとして3月に新しく販売開始された

「あいさいさんノート（¥100）」が好評でした。

②木曾川下流広域観光連絡協議会の報告書を回覧しました。その中でVGのユニフォームジャケットについて意見交換しました。

II. 高畑水没遺跡の視察会（11時～ 於：旧塩田港）

本号表紙写真のように、2日前の雨のため木曾川が増水し、堤防上部の観察のみとなりました。視察会により木曾川が持つ自然の魅力を紹介する良い機会となることは確認できましたが、その一方で、大雨による増水が大きく影響し、開催決定判断の難しさがわかりました。



「あいさいさんノート（¥100）」